

# 発達障害の理解に向けて

## 東京都教育委員会 調査結果

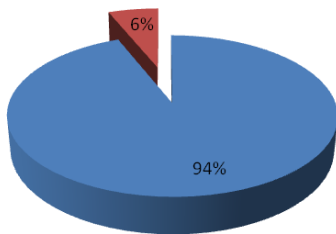
平成 26 年 8 月に東京都教育委員会が全区市町村教育委員会に実施した小学校の通常の学級における特別な支援を必要とする児童に関する調査の結果です。

通常の学級の児童数 a	発達障害の児童の総定数 b	在籍率 b/a	通級で指導を受けている児童数 c	支援率 c/b	bのうち一部特別な指導が必要な児童数	割合 d/b
552,897 人	33,661 人	6.1%	6,209 人	18.4%	16,445 人	48.9%

### 通常の学級に在籍する発達障害の児童の割合

通常学級の児童数 (人)	発達障害児童の想定数 (人)
552,897	33,661

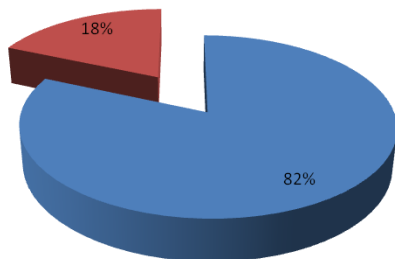
- 通常の学級に在籍する発達障害の児童の割合 通常学級の児童数 (人)
- 通常の学級に在籍する発達障害の児童の割合 発達障害児童の想定数 (人)



### 通級指導学級で特別な指導を受けられていない児童の割合

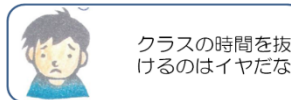
発達障害の児童の想定数 (人)	通級で指導を受けている児童数 (人)
27,452	6,209

- 発達障害の児童の想定数 (人)
- 通級で指導を受けている児童数 (人)

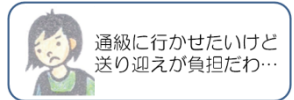


発達障害の支援を必要とする児童は、程度の差はあるものの、どの小学校にも在籍しています。そうした児童の中には、在籍学級（普段いるクラス）の授業から一部分抜けて、「情緒障害等通級指導学級（以下通級指導学級といいます）」で特別な指導を受けている場合があります。

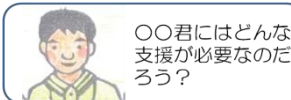
通級指導学級は、市内70校の小学校のうち16校に設置してあり、校内に設置されていない場合は他校に通級しなければならないために、保護者や児童自身、先生方にはこのような課題がありました。



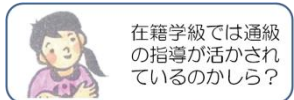
児童・生徒



保護者



クラス担任



通級担任

特別支援教室は、こうした課題にも取り組み、お子さんや保護者の不安や負担を少なくすることを進めていきます。

例えばどの学校にもこんな課題を抱えている子がいます。

じっとしてられない

忘れ物が多い

言われている意味が  
分からない

自分勝手だと  
勘違いされやすい



何回注意されても同じことを  
繰り返す

つい周りの子に嫌なことを  
言ったり、叩いたりしてしまう

行動の切り替えが難しく  
新しい環境に慣れない

勉強はわかるけど、書いたり  
読んだりすることが苦手

お子さんの障害や特性によってこのように特別支援教育の選択ができます。

小学校入学  
「特別な支援が必要かな？」

知的な遅れがある

知的な遅れはない

都立特別支援学校  
●知的障害

特別支援学級  
(固定制)  
●知的障害

通常学級

でも…

知的を伴わない自閉症やADHD等の診断がある  
保育園や幼稚園で支援を受けていた  
構音や吃音で困り感がある  
聞こえ難さ、補聴器の使用がある

特別支援教室、特別支援学級、特別支援学校に通うための  
ご相談は  
教育センター 就学相談  
でんわ 664-7524  
見学や体験もしながら、お  
子さんに合った支援を一緒  
に考えましょう

その他の  
都立特別支援学校  
●肢体不自由  
●視覚障害 (盲)  
●聴覚障害 (ろう)

●情緒障害等  
=特別支援教室  
●言語障害 (ことば)  
●難聴 (きこえ)  
=特別支援学級 (通級)